



創造力で生み出すアート！たんぽぽギャラリー作品展示の様子（親子教室）



教室の中では、別の子が色紙でキャラクターを制作中。なんとこのキャラクター折り紙、イラストを見て直感的に折って作り上げているのだそう。色ごとに小ささまな楕円や四角を折り、パーツを丁寧に重ねていきます。今回作った作品は、見て楽しむだけではなく、裏からキャラクターが飛び出す仕掛け付き。ただ姿形をまねるだけではない、遊び心とストーリーがある作品がこうして誕生しています。

ギャラリーの一角にあるアルミ箔で作られた恐竜の模型は、尻尾↓足↓胴体↓頭の順に綿密に組み立てられた作品です。一枚のアルミ箔があつという間に恐竜に早変わり！見本を見なくても、恐竜のことは頭の中に入っているそう。模型は自立するように脚が丁寧に作られています。ギャラリーに並ぶ様子は、まるで小さな恐竜の博物館です。



子どもたちにとって、『たんぼギャラリー』という作品を発表できる場があることは、「自分の作ったものを見てもらえる」という自信につながっています。保護者の方々や先生たちに温かく見守られながら、今日も創作意欲いっぱい新たな作品が生み出されています！

問 子育て支援センター
親子教室
(内線2583)



▲教室内に飾られている風鈴も、一つひとつ子どもたちが制作しています。風が舞い込むと、柔らかな音を奏でて耳を楽しませてくれました。



ファミリーセンターの1階エレベーターの向かいにある『たんぼギャラリー』をご存じですか？町の親子教室（通称…たんぼ教室）に通う子どもたちが、伸び伸びと作ったアート作品が飾られているスペースです。このたんぼ教室では、子どもたちの心身の発達を支援を行っています。「色を塗るところを見せてあげる！」と絵の具を用意するのは、教室に通う小学生の子どもたちです。赤、青、黄色：カラフルな絵の具たちを皿に出して準備は万端。「今日は天気がいいから」と、ベランダで色塗りの仕方を披露してくれました。

もう一人の子は、春の花のような柔らかな色で作ったから、スポンジでスタンプ。「これはウサギ！青はスミレの花で、ピンクはサクラだよ」と教えてくれました。作品を生み出す喜びが、2人の笑顔にあふれていました。



特集 夢中で作る アートの世界